様式３(2015.06改)

作成日　令和　2　年　4月 7日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000334
事業所名	グループホーム　導夢

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、町内会長や民生委員、近所の方や掲示板などで情報を得て、地域の催し物を見に出掛けたり、清掃活動に参加している。地域の商店や飲食店などの利用や散歩時には近隣の方との挨拶をしたり花の種を貰ったりするなど地域とのつながりを大事にしている。ハロウィンやクリスマスに保育園児と交流をしている。駐車場に自動販売機を設置して地域に還元したり、災害時にも備えている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者家族や民生委員、消防団長、保育園園長、いきいき支援センター職員の参加を得て年6回開催している。事業所の運営や活動状況の報告、ヒヤリハットや事故報告と今後の取り組みなどを議題として取り上げている。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝えたり、困難事例などの相談を受けたりして情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。管理者は市主催の研修会に積極的に参加し、職員に研修内容を伝え、サービス向上へ繋げるように努めている。管理者は、介護フェアー開催時のブース責任者として協力している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノートや業務日誌に記録して情報を共有し運営に反映させている。家族からは面会時や2か月に1回開催される家族会や行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。「導夢だより」を毎月発行し、ブログなどで行事の様子を記載して家族に安心を届けている。職員は、日ごろから意見を述べやすい環境を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	○